10.5.23

大電の訓令告示と大牧田中警察部長に訴ふ

龍工閉の決議を飜して誠心誠意の結果と諒察して貰ひたい

宮崎社長談

宮崎大電社長も午後二時府廳に田中警察部長を訪ひ約三十分會見を行ふ事の希望條件を承認しながら之を握り潰した會社側の所置は甚だ面白からず又待命者は何れより見るも犠牲者にして之も會社は儘に遇視せるものなればとて安治川龍工閉は他と就職しない事に決し一方春日出日本一の快雑誌『講談倶楽部』府刊

？女盛り男盛り戀愛武男號

素敵な評判！真切れぬ内に早く

則は稍軟化の傾向あり種々の議論が出たが結局各自の自由意志に一任することに決し西尾東兩氏を友愛會事務所に訪ひ打合をなした後西尾東兩氏は午後一時府廳に田中警察部長、加々美特高課長を訪ひ會社側の所置を難じて午後二時退廳した

常に結構な事である職員發表の時則は早過ぎると思ふも無事であれば結構だ自分としては滿足である

龍工に四十日分の給料を支給しろこと

新要求を提議

田中部長は半減なら引受く

西尾友愛會主事は語る

「友愛會の會員全部が結束して今回蹶起したのは團體交渉權の獲得を目標としたのであるそれを獲得した以上は先づ〳〵友愛會の主眼は達しられた理であるそれに對しての友愛會としては此際從業員自身の手で解決して貰いたいと考へて居る。之は友愛會が此の事件に對して他いたのでもヨリ以上に成算がない爲でもなく自分の事を出來得るだけ自分で解決する力が勞働者その誠意のある所を認て貰ひたい實際公共事業としている〳〵社會に迷惑を掛けたのは誠に相濟まぬ次第だが平常には新規定を適用し慰撫金も贈呈し尚待命者の給料も勿論支拂するので會社側としては誠意を披瀝してゐる云々

何も彼も結構だと皮肉も交りて

田中警察部長談

宮崎大電社長と會見後田中警察部長は語る今日發表された案に就き曾々異定者は何等の相談も話もも聞いた事もない勿論其の内容さえも知らないので何等批評を下す譯には行かぬ唯だ先日双方より取り交した覺書に據り双方調諭に解決して貰れる事と思ふ宮崎社長の話では職工達も平穏だとの事だから非常に結構な事である職員發表の時則は早過ぎると思ふも無事であれば結構だ自分としては滿足である

二十五日分ならこと……

第二實行委員に意を漏す

委員特高課長に盡力を迫る

新提議の要求案は田中警察部長より大電に報告したが一方龍工側は友愛會の主張により自動的行動を採ることゝなり第二實行委員は午後大電を訪ひ四十五日分の新要求を正式に持ち出したが會社ではそんな事は絶對に不聽すべく決心を堅めたらしい

時警察本部に加賀美特高課長訪ひ主張の貫徹に就いて盡力とふて引取つたが最早龍工團大電を冷酷なりと思ひ詰め此ヨリ多くの手當を得て大電と

場合によつては復讐的の示動に出るかも知れない

務のためヘトくになり三日分の二ケ所で今回の事件で檢束され大慰安會を催したが前記廿五日分を固執したのは廿五日分を貰へば再度ストライキを起こし大電を全敗せしむる成算があるかも知れぬと主張し全部意氣を揚めて居ると聞き内外相應じて事を起こさせば今度こそ大電を屈伏し得ると云ふのである兎に角双互に勤めて居る連中も容易に誠意が無くては事件は容易に解決せず却て紛糾を加わるであれも十二時間勤務一日分と言ふ高給にあり附いて居るけれど斷ら

あるかを今やすくに不平なる諸君が利用して實驗して貰ひたいのである。田中警察部長との會見の主眼は今回ストライキをした連中全部に四十日分の給料を支給して貰ひたい、左樣すれば待命になつた者は勿論轉勤者も皆々諸々として會社の處置者も唯々諸々として會社の言ふ通りになるからと云ふ極めて簡單なものである。田中氏はそれに對して四十日分は除り過重だから折半の二十日間にして呉れ、さうすれば自分で出來得る限り責任を負ひ大電に交渉して應諾させること言ふので種々議論もあつたが結局廿五日分貰へば不平は言はぬと言ふ事を言明し後日正午頃までにこの約束であつた處が如何程勢力のあるものでつた

兩發電所の從業員賃銀二倍を要求

全員疲れ果てゝ怠業

龍工側晤に自得の色あり

廿一日夜友愛會幹部の蹶起で兼平町の烏屋支部並に東盛社樓上